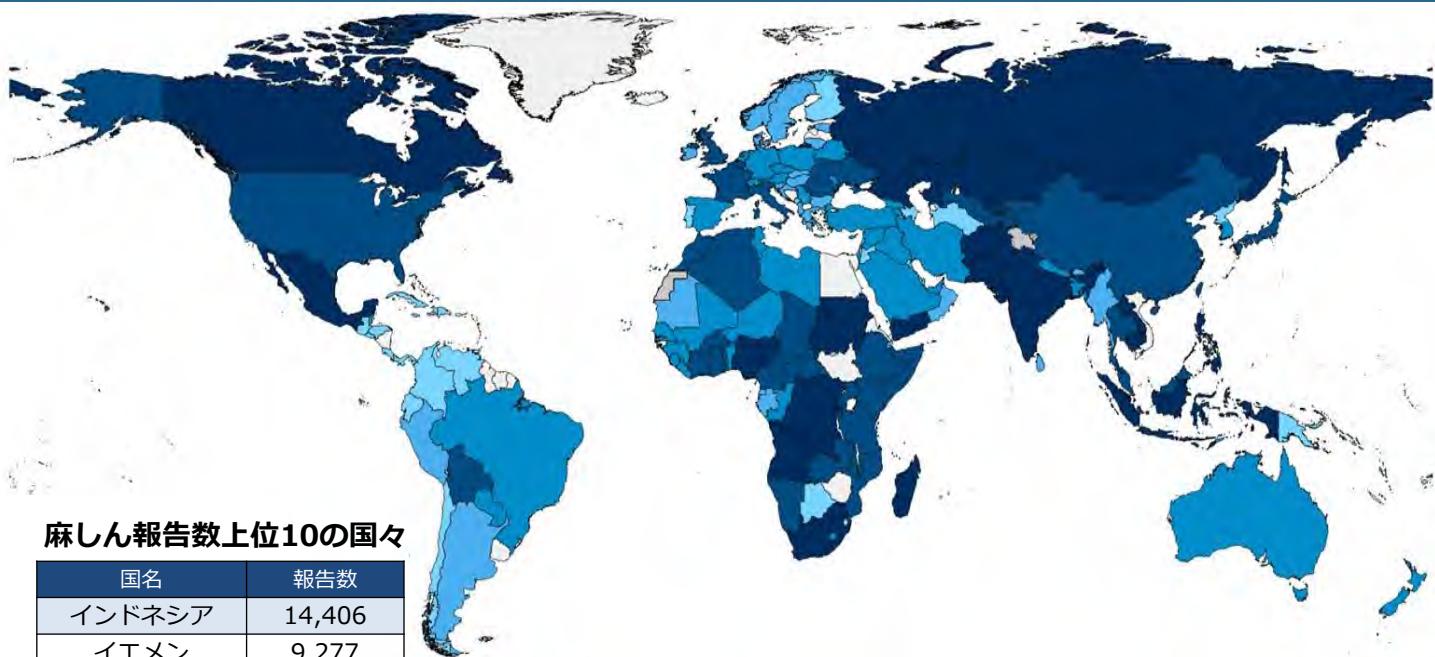


帰国後2週間程度は

麻しん 発症の可能性を考慮し 健康状態に注意してください。



麻しん報告数上位10の国々

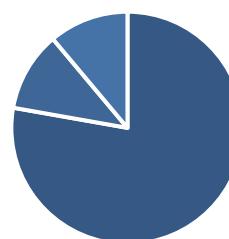
国名	報告数
インドネシア	14,406
イエメン	9,277
モンゴル	8,483
パキスタン	8,310
インド	8,184
アンゴラ	5,823
ナイジェリア	4,676
メキシコ	3,164
ロシア連邦	2,939
ラオス人民民主共和国	2,859

WHO(世界保健機関) 麻しん報告数 (2025年6月～2025年11月)

2026年1月現在；一部改変

<https://www.who.int/teams/immunization-vaccines-and-biologicals/immunization-analysis-and-insights/surveillance/monitoring/provisional-monthly-measles-and-rubella-data>

日本国内で届出された麻しん症例の推定感染地域



- インドネシア (7例)
- インドネシア／シンガポール (1例)
- フィンランド／イタリア (1例)

2026年第1週～第5週 (2025年12月29日～2026年8月2月1日)

帰国後2週間程度は

- 高熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状に注意しましょう

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

